



なごや歴まちびとの会 26年度フォローアップ事業  
「ヴォーリズ・メモリアル in 近江八幡」 見学 日帰りバスツアー に参加して

日時 平成 26 年 10 月 28 日(火)  
AM 7:50~PM 19:30  
場所 近江八幡 参加人数 会員 37 名  
講師: 一粒の会 3 名



宮村邸(旧佐藤久勝邸)

快晴の天候の中、なごや歴まちびとの26年度フォローアップ事業が会員の山田美紀子さんの提案で、建築家ヴォーリズの没後50年記念事業「ヴォーリズ・メモリアル in 近江八幡」と題して一日近江八幡のヴォーリズゆかりの建物を堪能してきました。参加者の方はなごや歴まちびとの会会員及び名古屋、愛知県、そして登文会の方と、総勢41名は到着後3班に分かれ、それぞれが現地ヴォーリズ建築の保存再生運動をする一粒会の3名の方にヴォーリズゆかりの建物説明を伺いながら、A班よりマイクロバスで特別観覧(ガイドされたボランティアの説明が印象的)最初は、宮村邸(旧佐藤久勝邸)これは昭和6年、ヴォーリズ建築事務所の佐藤久勝氏の自邸として建てられたもので、スパニッシュスタイルの住宅は母のために用意した和風の建物との調和が絶妙。



ツッカーハウス



五葉館

残念ながらA班は室内に入れずステンドグラスも外部よりの見学となり又の機会の楽しみとなりました。簡素な中にも、窓の形と型ガラスが印象的でした。続いて、今回のメインテーマ、ヴォーリズ記念病院で「ツッカーハウス」「礼拝堂」「五葉館」をまとめて見学 今回のヴォーリズ没後50年事業においての目的が、この「ツッカーハウス」の修復、保存費用の捻出にある



礼拝堂正面



記念病院内の礼拝堂

とのこと。少しでも協力できたでしょうか・・・とにかく窓を大きく取り採光、換気を最大限に考え、サナトリウムとしての機能と、調和の採れた美しい建物は見たものを惹きつけるものがあり、「五葉館」にも生かされており、どの部屋にも採光と通風が十分得られるよう設計されていた。片引きの雨戸は西洋人の設計では珍しいのでは?また、大きな基礎を高床式に設け土



ルーテル岡崎礼拝堂



徳川町ルーテル教会礼拝堂

台などの腐食に気を配っている点、窓の水切りの裏側に目地を入れ雨水などが回り込まないように配慮された点など、日本の風土をかなり研究し設計されていると、改めて日本人の私共が教えられたのではないのでしょうか。今回の研修会で楽しみにしていた建物に「礼拝堂」がありました。以前左の写真の2つの教会で講演会に参加させていただき、其の音響の良さに驚きました。

どちらの教会も講演者の肉声が私でも(最近難聴気味です)心地よく十分聞き取れました。ここでもやはり同様に聞き取れます。建物の容積形態が大体同じです。後で知ったのですが、名古屋の場合床板の下にフェルトが貼ってあるそうです。音響を考慮してのことでしょうか。もう1点ヴォーリズさん設計の教会はどれも天井トラスの美しさです。圧縮側、引っ張り側で材料を変え、最小限の材料で設計されています。トラスの種類はキングトラス(八幡、岡崎)とシザートラス(徳川町)の2通りが勾配によって使い分けされているようです。



旧伊庭家住宅外観



旧伊庭家内部襖「朧月夜」

特別観覧最後の安土「旧伊庭家住宅」にむかう。

ヴォーリズさん初期の建物は彼の建築としては珍しいと思いますが、ハーフティンバー様式で、構造材が化粧材となっており、屋根は石板張り切り妻造り、内部は和室にランプが点いたり和洋折衷となっており、お大尽の住宅という印象が強く感じられました。個人的にはミーハーですが、おぼろ月夜と秋の月の襖が印象的でした。



クラブハリエ外部の煉瓦塀



静かで水の流れていない様な八幡堀

昼食後、豊橋技科大中森先生のミニ講演の後ヴォーリズ建築の研究者で地元の石井様の案内でまずクラブハリエの規格外レンガ使用の塀、敷石等、経済面にも配慮の後が伺える建築しかも緑に素晴らしく溶け込んだ住宅建築を外から見学。そして安土桃山時代に整備され軍事的また物流の要であった琵琶湖の水運を利用して商業的役割を兼ね備えたと言われる「八幡堀」は八幡市の街にすっかり溶け込んで静かでした。(また何時か歩いてみたい)



アンドリュース記念館外観



旧八幡郵便局外観

途中豪商の館を見ながら(並な大きさでなかった)アンドリュース記念館では床面、雑巾摺りにアールを取った細やかな納りを見学、また、この建物には既に床下換気口も設けられていた。

この他、近江兄弟社学園、ハイド記念館を見学、最後に石井様達の活動の原点でもある、修復され、現在はギャラリー或いはイベント会場として多目的に活用され、一粒の会の事務所としても使用されている、旧八幡郵便局を見学しました。

因みに、「ツッカーハウス」も「アンドリュース記念館」も記念館の名前は資金提供者の名前をつけているとのことでした。

最後に今回のフォローアップ事業のため、企画、案内に尽力された山田様また、現地で建物の説明案内頂きました、一粒の会の皆様方には大変感謝申し上げます。

ありがとうございました。



「ヴォーリズ・メモリアル」近江八幡見学 平成26年10月28日

なごや歴まちびとの会 石田和義